

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		かぶとむしクラブしらかべ				公表日	2025年 3月 25日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		適切に配置している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		人員基準を満たしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7		現在必要とする児童生徒がいないため、整備していない。必要であれば整備する。現在は段差を気をつけて行動するように説明をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		活動に合わせて活動の部屋を決めている。清掃等も毎日行い、必要ヶ所には消毒等も行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		気持ちを切り替えたい時など、児童生徒が安心して選択をできるように整備している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		適時行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		アンケートを集計した後は貴重な意見を職員間で共有し、維持改善を行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		各活動に対して職員に質問等を行っている。職員会議では誰もが話せる環境を作っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		第三者委員会を設置し、評価を頂いている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		定期的な研修を行っている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		HPIにて公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		保護者様から頂いた要望を元に職員間で話し合い、多面から計画を考えている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		児童発達支援管理責任者を中心に全職員で利用者の課題がどこなのか、より支援を行いたい部分等を議論し、意味のある療育に繋げている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個別支援計画に則り、支援等を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		教室内で標準化したツールを用いて、評価を行う。日々の様子等から状況をまとめ、アセスメント等に繋げている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		各項目に合わせて、ねらいや支援内容を設定している。各項目については各利用者によって設定を行い、それぞれに合う支援方針又は移行について話し合い、具体的な内容を設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		各行事等は全体で話し合い、立案を行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		出来る限り新しいことができるように心がけている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別活動、集団活動それぞれを計画に合わせて作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		支援開始前はもちろん、計画を立てる際から内容や確認等を行いながら業務している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		レク等の終了後は振り返りを行い、次回以降に繋げるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		個別支援計画に基づいた日々の活動記録をまとめている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		現在では相談員と話し合い等を行い、定期的にモニタリングも行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		基本活動を土台とし、組み合わせを行って作成している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		当事業所が一番力を入れて取り組んでいる項目であり、遊び道具をはじめ各道具を児童生徒が選択できるように配置している。また、興味関心を持った項目については自身で調べる環境を用意し、知識等の向上につなげている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		現状では管理者はじめ、児童発達管理責任者が参加を行っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		地域の障がい福祉課をはじめ、教育機関と支援方針について連携を行う体制を整えている。保護者からの要望もあれば情報の共有を行い、より密に連携を取っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		送迎時に学校の様子等をお聞きするなど、日々の共有を行っている。送迎についても必要時には連絡等も行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		必要時には連絡調整を行うように体制を取っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		現状卒業後に左記の事業所等へ移行する生徒がないため、情報共有は行ってはいない。今後必要なケースがあれば保護者様の了解を得て情報提供	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		医療機関等の専門機関より研修をしていただき、助言等もいただいている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		公園で一緒になった子どもたちや、兄弟児との合同レクを行うことによる交流を行っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		地域の児童部会に参加する。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		日頃の業務時から児童生徒の話を行い、重要な情報についてはより深く共有を行っている。送迎時や、面談時にお話をさせていただいている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		質問等があった際には、こちらで活用している支援方法等をお伝えしている。体調管理や免疫系については提携している薬剤師よりお話を設ける。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明している。変更点があった際には口頭又は書面にて説明を行う。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		利用者や保護者のニーズの違い等もあるため、お互いに今後のビジョンを伺い、頑張りたい事や身に付けた事等を話し、計画内容に落とし込みを行う。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		個別支援計画については児童発達管理責任者が策定し保護者様への説明も行い同意を得て、支援を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		保護者様からご相談があった際は、日程を調整し面談を行っている。その場で解答が難しい場合は一度職員間で話し合い解答させていただきようとしている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7		保護者合同レクを行ったり、年に一回保護者会を開催している。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情等があった際には迅速に対応できるよう体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月行事予定表やお便りを配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		職員全体で十分注意し取り扱っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		それぞれの意思表示があるため、一人一人に合わせて配慮を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		地域で開催している祭りに参画するなど、地域との億流を積極的に行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		保護者様用にマニュアルを簡潔に作成したものをお渡ししている。そちらを元に対応している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		BCPを作成し、定期的な見直しを行っている。避難訓練等はBCP及びマニュアルに沿って行い、対策に講じている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		服薬・てんかん等については契約時にお聞きし、毎年年度初めに記入していただく健康カードにて情報の共有を頂いている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		現状医師の指示は頂いていないが、保護者様に対してアレルギーの確認は行っている。医師の指示が必要な場合はそちらに従う。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		業務及び事業所の安全計画を策定し、安全と認められた管理下で支援を行っている。その都度必要な研修や訓練も行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		災害時をはじめ、避難等が必要になる項目については保護者様向けのマニュアルを策定し、配布を行い第一避難場所等の周知を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		適時気付いた点をまとめ、作成している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的に虐待防止に係る研修を行い、事業所内で虐待が起きないよう対応を行っている。 利用者との向き合い方もここに沿い対応を考えてい	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		現状、身体拘束が必要な児童生徒がいないが、必要時には書面にて説明を行い、サインをしていただくようにしている。		